



榎 裕美 さん
(NPO 法人ワンダー
グラウンド職員)

16

浜・漁の魅力を伝えたい

青森県出身で、浜の漁師たちからは「りんごちゃん」の愛称で親しまれている、榎裕美さん(27)。試験操業の漁船に乗船し、漁を手伝うなどの活動を通して、彼らの信頼を得てきた。

いわきに移り住んで3年半、沼之内魚市場で開かれる朝市を市漁協と自身が所属するNPOが共催、運営している。

「これからも、浜の魅力、漁の魅力、漁師の魅力を伝えていきたいです」と、大勢の客でにぎわう朝市で語ってくれた。

波光

社会にはいろいろな業種、業態がある。超巨大企業から中小零細までいろいろだが、今はどこも人手不足が深刻ら

その中身、「空蝉」だろう

しい。外国人の受け入れも打開策の一つとはいえ、人口急減の折、産業のスリム化や縮小に踏み切ることもテではないか。

昭和の中頃。町の至る所に、和洋中となんでもOKの食堂

があつた。ところが、時代が流れると、分裂、専門店化が始まったと思つたら、さらに細分化した。飲食店に限らず、重厚長大の企業、小売業も裾野を広げ、時間など無視のノンストップで走り続けてきたものだ。

ところが、団塊世代の撤退で人口(労働力)は激減。慌てた国は今年に入り、諸外国から三十万人の「留学生受け入れ」を発表したものの、この制度、「教育政策」か、「産業政策」かは、おぼろげ。明確さはみえない。

高度成長を目指して「二十四時間戦い」、世界トップクラスの経済大国になった日本。モータリゼーションのツケが回つてしまい、国が打ち出す昨今の臨時的な制度・政策、継ぎ当てるようでもとでも解せない。五輪などに浮かれず、社会・産業構造の根本的な見直しこそ必要だ。

街を歩くと、募集、大募集、急募といった文字に加え、男女・年齢不問の張り紙などもよく目にする。そんな今、数字上は戦後最長と言われる好況らしいが、その中身は果たしてどうか。多分に、「空蝉」だろう。

(編集長)



2019 4月号

平成 31 年 3 月 27 日 発行
発行/株いわきジャーナル
〒 971 - 8141 福島県いわき市鹿島町走熊字小神山 29
(ヤスミツ第 1 ビル・2-A)
TEL.0246-29-2424・FAX.0246-29-2425
いわきジャーナルホームページ
<http://www.iwaki-j.net/read/>
E-mail:read@iwaki-j.net
※本誌掲載記事等無断転載複写禁
※落丁・乱丁はお取り換え致します

次号予告

5月号は2019年4月下旬発行

特集 よく遊び、よく遊ぼう!!

■連載

- ・うまい話し新聞別刊……………新田 秀二
- ・私の博物誌……………石川 進

★エッセー

- ・続・琥珀色の風景……………川島 慶一
- ・健探闊歩……………藤原 善子
- ・いわきに山あり……………いわき山岳会 ほか



公益財団法人 磐城 済世会

松村総合病院

☎(0246)23-2161 いわき市平字小太郎町1番地1

舞子浜病院

☎(0246)39-2059 いわき市平藤間字川前63番地1

長春館病院

☎(0246)39-3090 いわき市平藤間字川前63番地2

シーサイドパインビルズ老人保健施設

☎(0246)39-3815 いわき市平藤間字川前63番地5

松村健診センター

☎(0246)22-9915 いわき市平字小太郎町1番地8

松村看護専門学校

☎(0246)22-9916 いわき市平字小太郎町1番地8

おりづる訪問看護ステーション

☎(0246)22-9950 いわき市平字小太郎町1番地1

松村居宅介護支援事業所

☎(0246)22-9961 いわき市平字小太郎町1番地1



当法人では地域医療に貢献する職員を求めています

連絡先 公益財団法人磐城済世会 総務部
☎(0246)23-2161